

様式

技術名称	超多点注入工法	技術の分類	工法	NETIS登録の有無 (有場合はNETIS番号)	KK-120050-A	
会社名等	地盤注入開発機構	担当者	岡田和成	連絡先	03-3815-2162	
技術の概要	超多点注入工法は、理想的な浸透注入形態を実現する薬液注入工法のひとつである。 吐出量を他工法よりも小さい1~6L/分とし、かつ同時注入箇所を1ユニットで32箇所とすることにより、地盤や周辺構造物に及ぼす変位の影響を抑え、経済的に浸透注入を行うことが出来る。			添付資料	パンフの有無	有
					その他の資料	発表論文・技術マニュアル
技術の特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・既設構造物直下や近傍の液状化対策として適用可能な変位抑制型の薬液浸透注入工法である。 ・標準的な吐出量(注入速度)は1~6L/分の低吐出である。 ・1ユニットで32箇所を同時注入する専用の多連ポンプを採用しており、低吐出でありながら施工能力が高い。注入プラントはユニット化されているため、狭隘地での施工性が高い。 ・注入管は内径6mmの細いフレキシブル管(注入細管)を採用し、芯材を中心に結束される。注入管の長さは任意に調整可能であり、適切な位置に注入口を配置できる。 ・各注入箇所の注入圧力・流量を監視し、このデータをリアルタイムに表示・記録・制御する管理装置(マルチ多連システム)を採用し、薬液注入において緻密な注入施工管理が行える。 ・液状化対策で使用する注入材は、恒久グラウトを使用する。 			その他	<ul style="list-style-type: none"> ・本工法の適用地盤は、細粒分含有率40%以下の砂質地盤であり、液状化対策をはじめとして、止水や吸出し防止対策、地盤強化・補強、地震時動土圧軽減対策等に適用できる。 ・本工法は、工業所有権(特許ならびに商標)が成立済みである。 ・(財)沿岸技術研究センターにおいて、港湾関連民間技術の確認審査・評価:第14002号(多点同時注入工法)を取得している。 	